

## 2 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成 24 年度に策定した「みえ県民力ビジョン」で政策分野ごとに設定した 15 の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

**問2** 地域や社会の状況について、あなたの実感をおききします。

次の(1)から(15)までの15の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- (1) 災害の危機への備えが進んでいると感じますか。
- (2) 必要な医療サービスを利用できていると感じますか。
- (3) 必要な福祉サービスを利用できていると感じますか。
- (4) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしていると感じますか。
- (5) 身近な自然や環境が守られていると感じますか。 (第5回調査で質問を変更)
- (6) 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じますか。 (第5回調査で質問を変更)
- (7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。
- (8) 結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなっていないと感じますか。  
(第9回調査で質問を変更)
- (9) スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。  
(第5回調査で質問を変更)
- (10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。
- (11) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。
- (12) 県内の産業活動が活発であると感じますか。
- (13) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。
- (14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。
- (15) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

○ 選択肢はいずれの質問も下記の通りです。

- 1 感じる    2 どちらかといえば感じる  
3 どちらかといえば感じない    4 感じない    5 わからない

※(5)(6)(8)(9)を除き、第1回調査から継続して質問しています

## ○『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感をおききしたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」が86.4%で最も高くなっています。次いで、「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(76.0%)、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(71.3%)の順で、これまでの10回の調査を通じて同順位となっています。

## ○『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が62.5%で、第1回調査以降、継続して最も高くなっています。次いで、「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(56.3%)、「(15)道路や公共交通機関等が整っている」(56.2%)の順となっています。

## ○前回調査との比較

前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは、15項目のうち10項目で、増加幅が大きかったのは「(5)身近な自然や環境が守られている」(+6.1ポイント)、次いで「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(+5.7ポイント)、「(7)子どものためになる教育が行われている」(+4.9ポイント)、「(8)結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなっている」(+4.3ポイント)の順となっています。

一方、『実感していない層』の割合が高くなったのは10項目で、「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+5.4ポイント)の増加幅が最も大きくなっています。

## ○第1回調査との比較

第1回調査から質問内容を変えずに継続的におききしている11項目のうち、第1回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは10項目で、増加幅が最も大きかったのは「(7)子どものためになる教育が行われている」(+14.2ポイント)次いで、「(2)必要な医療サービスが利用できる」(+13.9ポイント)、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(+12.4ポイント)の順となっています。

一方、『実感していない層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(+1.3ポイント)「(15)道路や公共交通機関等が整っている」(+0.3ポイント)を除く9項目で第1回調査より低くなっています。

図表8 地域や社会の状況についての実感（一覧）

	実感している層					今回		実感していない層	
	今回	前回	前回差	ポイント	ポイント	今回	前回	前回差	ポイント
(1)災害の危機への備えが進んでいる	3.6	30.6	37.3	19.0	8.5	34.2	(-1.0)	56.3	(1.4)
							<9.8>		<-10.2>
(2)必要な医療サービスが利用できる	12.5	46.8	21.5	11.8	6.5	59.3	(1.0)	33.3	(0.6)
							<13.9>		<-11.8>
(3)必要な福祉サービスが利用できる	6.4	29.9	26.4	16.1	20.0	36.3	(1.0)	42.5	(0.4)
							<3.6>		<-3.5>
(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている	17.8	53.5	15.9	8.8	3.1	71.3	(-5.7)	24.7	(-5.2)
							<12.4>		<-11.7>
(5)身近な自然や環境が守られている	9.2	43.0	26.6	13.7	6.4	52.2	(-6.1)	40.3	(-5.1)
							<->		<->
(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている	3.4	25.3	35.9	19.6	14.9	28.7	(-0.1)	55.5	(2.2)
							<->		<->
(7)子どものためになる教育が行われている	4.7	37.2	24.6	13.5	18.9	41.9	(4.9)	38.1	(-1.6)
							<14.2>		<-11.8>
(8)結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなっている	6.6	32.1	26.1	16.5	17.2	38.7	(-4.3)	42.6	(-0.6)
							<->		<->
(9)スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている	5.7	36.4	28.6	13.8	14.2	42.1	(-1.0)	42.4	(1.3)
							<->		<->
(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい	33.5	42.5	10.2	7.5	5.3	76.0	(1.2)	17.7	(-0.9)
							<2.9>		<-2.0>
(11)三重県産の農林水産物を買いたい	44.1	42.3	5.7	3.5	3.5	86.4	(-0.9)	9.2	(1.6)
							<-1.0>		<1.3>
(12)県内の産業活動が活発である	5.1	31.7	32.7	12.1	17.5	36.8	(0.5)	44.8	(0.8)
							<9.0>		<-9.3>
(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる	3.3	24.3	36.9	17.6	16.8	27.6	(-4.6)	54.5	(-5.4)
							<10.3>		<-9.7>
(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている	1.8	19.3	35.8	26.7	15.3	21.1	(0.3)	62.5	(0.6)
							<7.4>		<-10.2>
(15)道路や公共交通機関等が整っている	5.0	34.0	30.5	25.7	4.1	39.0	(0.1)	56.2	(0.2)
							<1.5>		<0.3>

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計  
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計  
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出  
 ※第5回調査以降で質問を変更したものは、第1回調査と比較していない